

(公的年金)：スウェーデンの公的年金の情報通知（オレンジレター）

スウェーデンでは、18歳以上の全国民に対し公的年金の情報通知（オレンジレター）が送付されている。その目的は、年金制度への理解を深めることと、国民の将来設計に役立ててもらうことである。継続的な研究により、オレンジレターは改善され、その効果が出始めている。

スウェーデンでは1998年に年金改革法が成立し、公的年金制度は1階建ての所得比例年金に一本化された。それは、賦課方式の所得比例年金と、積立型の個人年金であるプレミアム年金の2種類からなる。所得比例年金は、給付建てではなく、概念上の拠出建ての制度になっている。年金額は、年金支給開始時点までに蓄積された個人残高をベースに算出される。しかし、人口や経済状況によっては、財政が悪化する可能性があることから、財政バランスが崩れた時には、給付を自動的に減額する仕組みが導入された。また、最低保証の年金も導入され、以前と比較して、将来の年金額の検討をつけることが難しくなった。

実際、将来どの程度の年金額を受け取れるかについて、知らない人が多いことも調査でわかった。そこで、1999年より全国民に対して年金通知が始まった。この通知は、その後、毎年のように内容を改善し、現在ではオレンジ色の封筒で郵送されることから、「オレンジレター」（オレンジ・エンベロップとも言う）の名前で、世界的に有名となった（巻末図表2参照）。

現在、オレンジレターは6ページからなる。まず、最初のページには、年金の予測給付額が掲載されている（図表1）。これは、所得比例年金とプレミアム年金を合計した額が表示される。2ページ目には、2つの制度の年金口座（個人別勘定）の残高、3ページ目には、プレミアム年金勘定で保有している、投資信託の購入価格や時価が示されている。4ページ・5ページ目には、保険料の算出根拠と、年金口座残高の増減の内訳がある。6ページ目には、新しい年金制度の仕組みについての説明が記載されている（詳細は、平成16年度厚生労働科学研究費研究報告書<http://www.nli-research.co.jp/stra/n-forum-kakenhi04-05.html>の資料3を参照）。

このオレンジレターの目的は、まず、年金制度を理解してもらうことである。定期的に行っているアンケート調査によれば、オレンジレターにより、年金制度に関する理解が深まってきているという結果がでている。また、老後の準備に対する意識を喚起し、将来設計に役に立ててもらうことも目的である。予測給付額を参考に、公的年金だけでは老後の備えが十分でない場合には、自分自身で準備する必要がある額を推測できる。

年金の予測給付額は、各人のそれまでの履歴をベースとし、将来部分については一定の仮定を置いて推計している。退職年齢については、スウェーデンでは各自が決めるため、61歳、65歳、70歳の3つのケースが示されており、長く働くほど、将来の年金額が増えることが見てとれる。また、給付額の予測には、経済成長率が0%、2%の2つ仮定を置いて推計している。経済成長率が高い（2%）の方が、経済環境が良く、将来の収入も増えるシナリオであるから、予測給付額も高いことがわかる。

予測給付額が複数記載されていることにより、それが不確実である印象を与えている。図表1では、予測額の左上 9500 クローネと右下 31300 クローネでは3倍以上の開きがある（1 クローネは約 15 円）。特に、若い人は、現在までより将来の収入額の方が多いので、この予測給付額の差は大きくなる。このように、予測額が開くと、将来の生活設計の参考にし難いように思われるが、年金の制度上、本当にこの程度の不確実性があるのであれば、それを通知することにより、国民の年金制度の理解に役立つはずである。これに対して、予測給付額が、1つの期待値で示される場合には、理解が容易な反面、特に、若い人には、その値が、どれだけ現実性のある数値か疑問であろうし、あたかも、その金額が受給できるかのような誤解を招く恐れもある。

図表 1：スウェーデンの公的年金の個人向け通知（抜粋）

社会保険庁及び
プレミアム年金庁

'05

あなたの公的年金の見込額

この公的年金の見込額は、あなたの退職後、毎月どのくらいの公的年金が支給されるかを見込んで計算したものです。これは現在までにどのくらいの額があなたの公的年金口座に積み立てされているかが基本となっています。現在までの積立金額は2ページ目に提示してあります。

当庁では、あなたの収入が引き続き同じ額あると仮定しました。2005 年から退職するまでの間、同額の年金権利額が積み立てられるものと想定しています。

あなたの 2005 年の年金権利額は5ページに提示してあります。

あなたが下記の年齢で公的年金を受け取る場合の年金見込額

満 61 歳	経済成長率 0%で、月額 9500 クローネ	経済成長率 2%で、月額 14500 クローネ
満 65 歳	経済成長率 0%で、月額 12000 クローネ	経済成長率 2%で、月額 20000 クローネ
満 70 歳	経済成長率 0%で、月額 17000 クローネ	経済成長率 2%で、月額 31300 クローネ

あなたの満 65 歳時での公的年金の税差引前金額は、経済成長率 0%の場合(月額 12000 クローネ)は、所得比例年金 9800 クローネと、プレミアム年金 2200 クローネで構成される見込みになります。

以下、略（スウェーデン社会保険庁の年金通知額のサンプルをニッセイ基礎研究所が訳）

わが国でも、58 歳時点で、公的年金の加入履歴と受給予測額の通知が始まっている。さらに将来、もう少し若い人に対しても通知を送ることが検討されている。年金をどれだけ受け取れるかは、将来の生活設計を行う非常に重要な情報であると考えられるが、その重要性に気がつかない人も多いようである。単に通知するだけでなく、通知を如何に活用するかについての理解促進も必要であろう。

（北村 智紀）

図表2：スウェーデン社会保険庁のオレンジレター（左）とオレンジレターの新聞広告（右）



（スウェーデン社会保険庁ツバイグベルグ氏のプレゼンテーション資料（2005/9）より）

発行： ニッセイ基礎研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 九段センタービル

FAX：03-5512-1082 E-mail：pension-query@nli-research.co.jp

年金ストラテジーWebアドレス http://www.nli-research.co.jp/stra/stra_all.html

本誌記載のデータは信頼ある情報源から入手、加工したものです。その正確性と完全性を保証するものではありません。本誌内容について、将来見解を変更することもあります。本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、契約の締結や解約を勧誘するものではありません。ニッセイ基礎研究所の書面による同意なしに本誌を複製、引用、配布することを禁じます。